

2012年3月21日

北陸電力

代表取締役社長 久和 進 様

越境する原子力災害対策／原子力規制行政を求める住民ネット・富山

略称〈越境〉ネット・富山

代表 ^{はの} ^{けんじ} 埴野 謙二

富山市牛島新町6-1-905

質問書

私・たちの質問は、私・たちにとっては、私・たちの「パブリックコメント」ならぬ「パブリックコミットメント」の第1弾です。——ややオーバーに言えば、私・たちは、富山の未来の歴史形成への積極的な踏み込みという意味で、「コミットメント」ということばを使っています。

1. 「3・11」というとても大きく、とても不幸な経験を踏まえて、この間、中央政府の「原子力安全委員会」では、これまでの「防災指針」の（言ってみれば「防災パラダイムの転換」とでも言うべき）「抜本の見直し」が進められていると、聞いています。
 - a. 私・たちの生きる地域をその一部とするエリアを対象に原子力事業を進めている貴社として、その「抜本の見直し」の「抜本性」のポイントとは何であると認識しているのかを、示してください。
 - b. 進められている「防災指針」の見直しの抜本性の要素として、「EAL」・「OIL」という「緊急時防護対策」の「意思決定」手順にかかわる新たな考え方の導入が図られるとのことですが、貴社の原子力事業者としての「原子力事業者防災業務計画」への、その組み込み方、また、そのための準備の進め方を示してください。
 - c. これまでも原子力事業者の「原子力事業者防災業務計画」は、その改定にあたっては、関連自治体との「協議」が必要とされてきました。このたびの「防災指針」の見直しにおいては、より一層、「協議」が不可欠であると思われませんが、貴社としては、どのように考えていますか。

2. 貴社は、富山県及び氷見市との間で、いわゆる「安全協定」の「締結」をはかろうとしています。
- a. 上でふれたこのたびの「防災指針」の抜本的見直しのポイントを、その「安全協定」にどのように反映させるべきであると考えているのかを、示してください。
 - b. これまでの「防災指針」の抜本的な見直しを図る上での一要素としての「EAL」・「OIL」という考え方を、「安全協定」にどのように反映させるべきであると考えているのかを、示してください。
 - c. 上の「b.」でふれた事項以外に、「安全協定」に貴社として、盛り込むべきであるという事項として、何があるのかを、示してください。
3. この列島の「原子力発電」が全て稼働停止となる事態から脱け出すことへ向けて、再稼働をめぐる動きが急を告げていることが、マスコミ報道などで報じられています。
- a. 貴社は、すでに繰り返しふれた「防災指針」の見直し、改定との関連で、「再稼働」にかかわって不可欠とされる「地元同意」という場合の、原子力発電所周辺自治体の「地元」性のスペクトラムあるいは、「関連」度のカテゴリーを、どのように認識しているのかを、示してください。
 - b. 貴社の「原子力事業者防災業務計画」の改定がなされない段階での「再稼働」について、貴社はどのように考えているのかを、示してください。
 - c. 原子力安全委員会において「安全基準」の改定がなされていない、現段階での「再稼働」について、貴社はどのように考えているのかを、示してください。